

☆投稿紹介



荔枝さんの作品

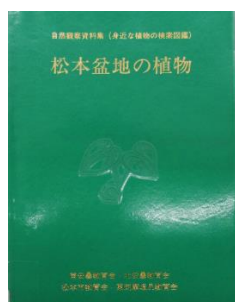
可愛いイラストをありがとうございます！ Hey!Say!JUMP の伊野尾くんと有岡くんの魅力が伝わってきます！
メガネ姿っていうのがまた素敵ですね☆
今回の作品は、市内中学校にご協力いただき学校図書館内におかせていただいている「WaKaBa のポスト」に投稿してくれたものです。

みなさんからの投稿もお待ちしています！

☆おすすめ本 紹介

・『松本盆地の植物』

自然観察資料集作成委員会／松本市教育会／1996



植物さんのおすすめ作品

おすすめの本の紹介をありがとうございます！

本と合わせて、身近な場所にある植物を見るとより楽しめますね♪

みなさんからのおすすめ本の投稿もお待ちしています！

特集：館長からあなたへ



本年4月から図書館長を務めています。
中野実佐雄と申します。
本は好きですが、趣味は読書ではありません。
いろんなことに興味があります！
男、58歳、子3人、孫1人います。
「えんぱ一く」に来たときは気軽に声をかけてください。
みなさんをお待ちしています。

☆マンガの話

『聲の形』（大今良時／講談社）を読んだ。良かった。『少年マガジン』に連載された作品だ。映画化がされ、現在、全国で上映されている。以前、ビッグコミックに連載された『どんぐりの家』（山本おさむ／小学館）のことを思い出した。35歳の時、23年前のことだ。このマンガは、その後の私の人生に大きな影響を与えた。映画化され、上映会を有志で開催し、その時に出会った人たちと今も繋がっている。話を元に戻そう。『聲の形』は、ひとりの少年が、少女を、周りの人たちを、そして自分を受け入れようとする物語、久しぶりに全7巻を一気読みした。映画も観てみたい。

マンガの中には、心を動かされ、生き方に影響を与える作品もたくさんあります。私には、そんなバイブル的マンガがあります。あなたも探してみたいはいかがですか。マンガも素晴らしい、そう思いませんか。

※『聲の形』は図書館では所蔵していません。『どんぐりの家』は図書館で借りられます。

・参考 映画『聲の形』 公式サイト <http://koenokatachi-movie.com/>

☆図書館からのお知らせ

・若葉のコーナーに、新しく『ダン・スク！』（DSK）、『FINEBOYS（ファインボーイズ）』（日之出出版）、『Mer（メル）』（学研パブリッシング）の3誌が仲間入りし、若葉のコーナーの雑誌が14誌になりました。新聞も、「15歳のニュース」のほかに「朝日中高生新聞」が加わりました！ また、若葉のコーナーに新着書がたくさん入りました。ぜひ、遊びにきてください。

・塩尻市立図書館のホームページがリニューアルしました！

(<https://www.library-shiojiri.jp/>)

使いやすく、見やすくなりましたので、ぜひアクセスしてみてください。



<若葉新着書>



<若葉のコーナーにある新聞>

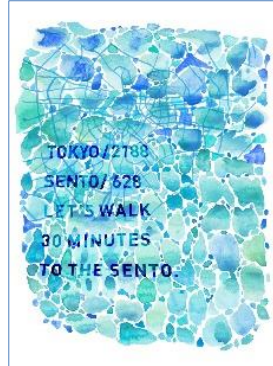
☆お仕事ナビ

今回のナビゲーターは、Webデザインをしている久保田信恵さんです。

Q1. 仕事の内容を教えてください。

東京でWebデザインの仕事をしています。

具体的には、PCサイトやスマートフォンのページデザイン、サイトに使うアイコンやロゴマークを制作するお仕事をしています。



(自主制作品)

Q2. 仕事に就いたきっかけや、なりたかった理由を教えてください。

もともとは、本を作るデザイナー(エディトリアルデザイン)をやっていたのですが、働き方が合わなくて仕事を辞めなくてはいけなくなりました。デザインが大好きで、デザインをこのまま続けたいという思いを持ちながら、アルバイトしつつ次の仕事を探していました。不安の中、心の支えが近所にある銭湯に通うことでした。通っている方、銭湯のご主人の方からの応援や支えがあり、デザイナーさんと縁を結んでくれ、今までやったことのない Web デザイン制作会社に勤めることになりました。

Q3. やりがいを感じたり、楽しい・うれしいと思ったりするのは、どんなときですか。

今までやったことのないWeb デザインを必死に学びながら、デザインが身についていることがどんどん分かるようになったことです。働きながらも、勉強しやすい環境づくりは本当に大切だと身にしみて感じています。また、私が本来描いている絵などの制作もできるようになりました。

前職が働くロボットみたいな環境だったので、仕事をしながら普通に笑いがあつたり、お酒を仕事終わりに飲めたり、人の顔がみえるということが、本当に普通のことですが、それを感じられることに喜びを感じています。

Q4. 中高生のとき好きだった本や熱中していたことなど教えてください。

今でも忘れることのできない好きな本は、『兎の眼』(灰谷健次郎/理論社)です。戦後10年の神戸を舞台に新任教師の古谷先生が郊外で暮らす、全く言うことを聞かない生徒・鉄三を中心に近隣で暮らす人たちの温かさに触れながら時代を生きていく物語です。作者の方の壮絶な人生経験もあつてか、人間の底知れない寂しさ、優しさが嘘なく描かれています。先生を目指している方はぜひ、読んでみてください。

熱中していたことは、東京の美大に現役で入れるか悩みながらも絵を描いていました。高校の頃は弓道に熱中していました。

☆みなさんへのメッセージ

社会に出て働くということは、本来の自分の持っている人間性を会社や働く人たちに合わせていけなくてはいけない部分があります。私はそれが苦手で遠回りしたような生き方をしているかもしれませんが、捨てきれないことは悪いことではないと思います。特にものを作りたい人は、努力や我慢は必要ですが、必ず認めてくれる人が出てきます。認めてもらって成果をストップさせず続けていく人が認められていくのだと思います。そして、ピンチに陥った時には抱え込まず、正直に人に伝えて助けを求めてください。普通のあいさつができて、礼儀がある程度できて、最低限の思いやりをもっていたら人生捨てたもんじゃありません！

今、みなさんがやっている勉強は大切です。なりたいたいものになる、トレーニングだと思って楽しんでください。

縁パークしおじり

今回のテーマ
「ぶどう」

塩尻市のぶどうの歴史

塩尻市は、年間日照時間が長く、降水量も少ないことに加え、昼夜の寒暖差が大きいという気候の特徴により、ぶどう栽培に適しており、全国有数の産地として知られています。塩尻のぶどう作りは、明治23年に豊島理喜治氏が塩尻桔梗ヶ原に約1haの「ナイヤガラ」、「コンコード」などアメリカ系のぶどうを中心に25品種、3,000本試植したことから始まります。

現在、年間の収穫量は約4,540トンで全国有数のぶどうの産地として知られています。主に生食用である、「ナイヤガラ」、「コンコード」、「デラウェア」、「ポートランド」、「巨峰」に加え、ワイン専用種の「メルロー」、「シャルドネ」、等のヨーロッパ種も栽培されています。醸造されたワインは、国際ワインコンクールや国内ワインコンクールにおいて金賞を受賞するなど高品質なワインとして認められるようになりました。

市内にある塩尻志学館高等学校は、全国でも数少ない酒類の製造免許を持った高校で、敷地内で育てられたぶどうから毎年ワインを生産しています。

みなさんも20歳になったら塩尻産ワインを飲んでみてください。



「シャルドネ」

☆参考文献

- ・『ぶどうの郷づくり基本計画』塩尻市、2001
- ・塩尻市ホームページ
(<http://www.city.shiojiri.nagano.jp/>)

Pick up! ○○の秋

涼しくなり、過ごしやすい時期になりましたね！

みなさんは、「秋」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？

今回は、「○○の秋」をテーマに色々な秋の本を紹介します！！ (清水)

芸術 『無限の網』 草間彌生

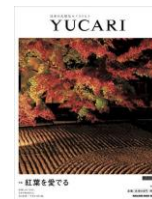
長野県出身の日本が誇る天才アーティストのその魂の軌跡と愛した人々、進化し続ける創作について綴られた一冊。



紅葉 『YUCARI 紅葉を愛でる』 シダックス総合研究所出版

秋は紅葉、紅葉狩り!!

日本で文化、心情としてだけでなく、経済の仕組みとしても根付いている「紅葉」の素晴らしさをひも解きまとめた一冊。



スポーツ 『ボルダリングを始めよう!ピグナーでも親子でも楽しめる』 井上大助 著

年齢や性別に関係なく楽しむことができるスポーツとして人気急増中のボルダリングをはじめてみませんか。



編集後記:

今回の「お仕事ナビ」は小学生の頃からの友人が書いてくれました。月日が経っても助けてくれ、今、ふりかえると学生時代の出会いはとても貴重ななと感じています。実のある秋となるよう、塩尻市立図書館はみなさんを応援しています！

(上野)

